

コモンズの定義と 性質

使用テキスト: 井上真編著「コモンズの社会学」
序章 自然資源の共同管理制度としてのコモンズ
(テキスト引用のページは, (テ)と表示してある)

(テ) 「コモンズ」がもつ意味

1) みんなの共有資源

ローカル・コモンズからグローバル・コモンズまで幅がある(オープン・アクセス資源と類似した概念含む)

2) 共有資源をめぐる人と人との関係を規定する所有制度

捉え方: グローバル・コモンズ, ローカル・コモンズ
を対象に広く議論。 P.10

(テ) 利用と管理を中心に着目

管理に着目する理由：

所有権 欲するままに財産を使用し、収益を獲得し、
財産を処分する権利

利用権 役に立つように物を用いる権利
所有者と異なる場合、利用権を有する者が使用し収益をえる。「用益権」

管理 財産の保存、利用、改良をはかること。管理権とは
他人の財産を管理する権利。
所有のありかたとは独立、利用を含む。 P. 11

財と所有制度

私有財（私的所有）

個人は社会的に許容される範囲で、他人を排除し、資源を使用したり処分する権利を有する

公共財（公的所有制度）

資源の所有権は国や地方公共団体にあり、利用管理も公的機関が行う

共有財（共的所有制度）

資源は構成員によって共同で利用・管理される

コモンズ

非所有（オープン・アクセス）の財

資源を特徴づける二つの性質

排除性

資源の利用者を排除すること。占有の程度を表す

競合性

追加的な利用は先に利用している個人の効用水準を低下させるという性質。

多くの人が利用すれば各人の利用可能な資源の量が減少し、あるいは質が低下する。

図 資源の性質

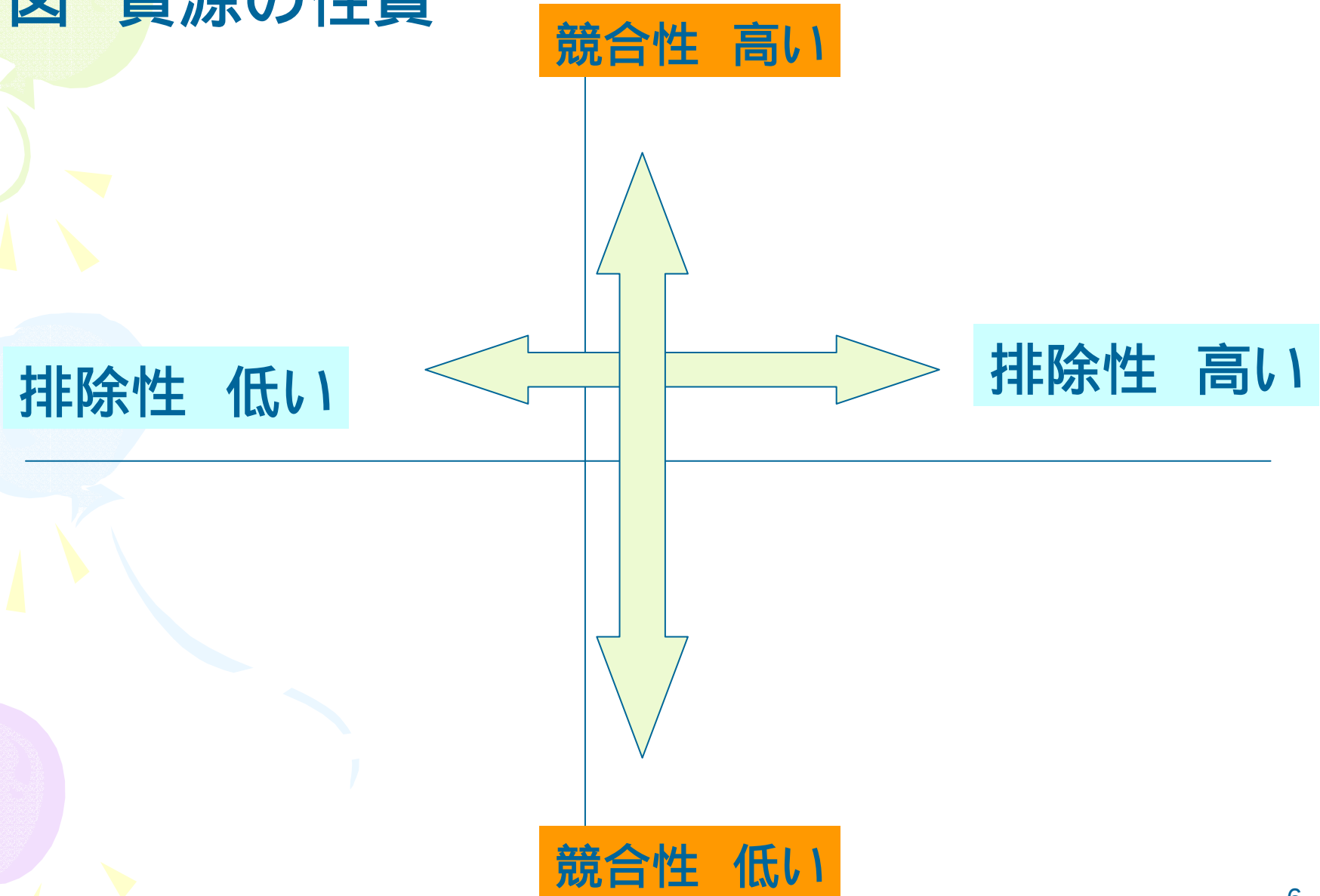
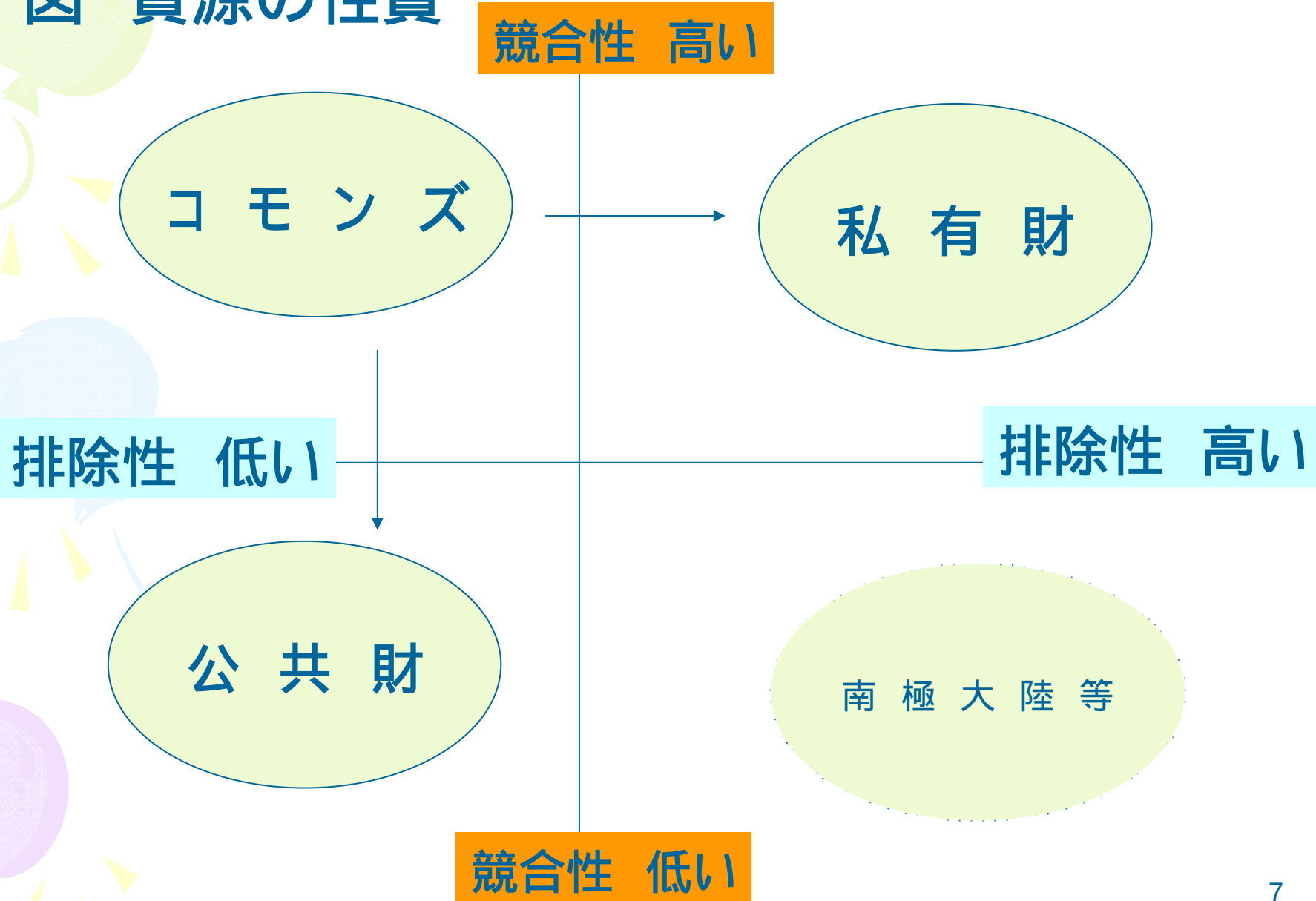


図 資源の性質



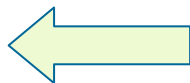
(テ) 共同管理とコモンズ

コモンズ 自然資源の共同管理制度, おおび共同管理の対象である資源そのもの

実質的な利用と管理が共同で行なわれているもの

管理集団はさまざまなレベルで対応:

- 1 地域社会レベル
- 2 地方行政レベル
- 3 国家レベル
- 4 地球レベル



コモンズが成立しやすい環境

(テ) グローバル・コモンズ

将来地球レベルで成立するだろうコモンズ

自然資源にアクセスする権利が一定の集団・メンバーに限定されない管理制度

グローバル・コモンズとは？

「地球規模の共有財」

大気, 深海層, 宇宙, 南極大陸, 無線周波数, 地球静止軌道,
etc.

20世紀まで 主権国家の管轄を超えた範囲がグ
ローバル・コモンズ

公海: 大砲の弾が届く限界の距離をこえる, 3マイル以遠
(航海, 漁業, 海中ケーブル, 航空などの利用)



その後, さまざまなコモンズが広く認知。世界的な条約も多数。

例：南極大陸

南極大陸 1959年に12か国による南極条約
(競争関係にはないが排他性, 軍事活動の
禁止)

- (1) 各国が主張する領土権・領土についての請求権を、
条約の有効期間(いちおう30年)中凍結
- (2) 平和的利用だけを認め、軍事利用・核爆発・放射
性廃棄物処分を禁止
- (3) 科学的調査の自由を基礎とする国際協力を促進。
- (4) 条約規定の遵守(じゅんしゅ)を確保するため、相
互査察を認める

(テ) ローカル・コモンズ

地域社会レベルで成立するコモンズ

自然資源にアクセスする権利が一定の集団・メンバーに限定される管理制度

P.11

(テ) ローカル・コモنزの類型

タイトなローカル・コモنز

利用について集団内である規律が定められ、
利用にあたって種々の明示的、暗黙の権利・
義務関係がともなっている

日本 共同漁業権内の資源利用
農業水利

「コモنزの悲劇」はおきにくい

(テ) ローカル・コモنزの類型

ルースなローカル・コモنز

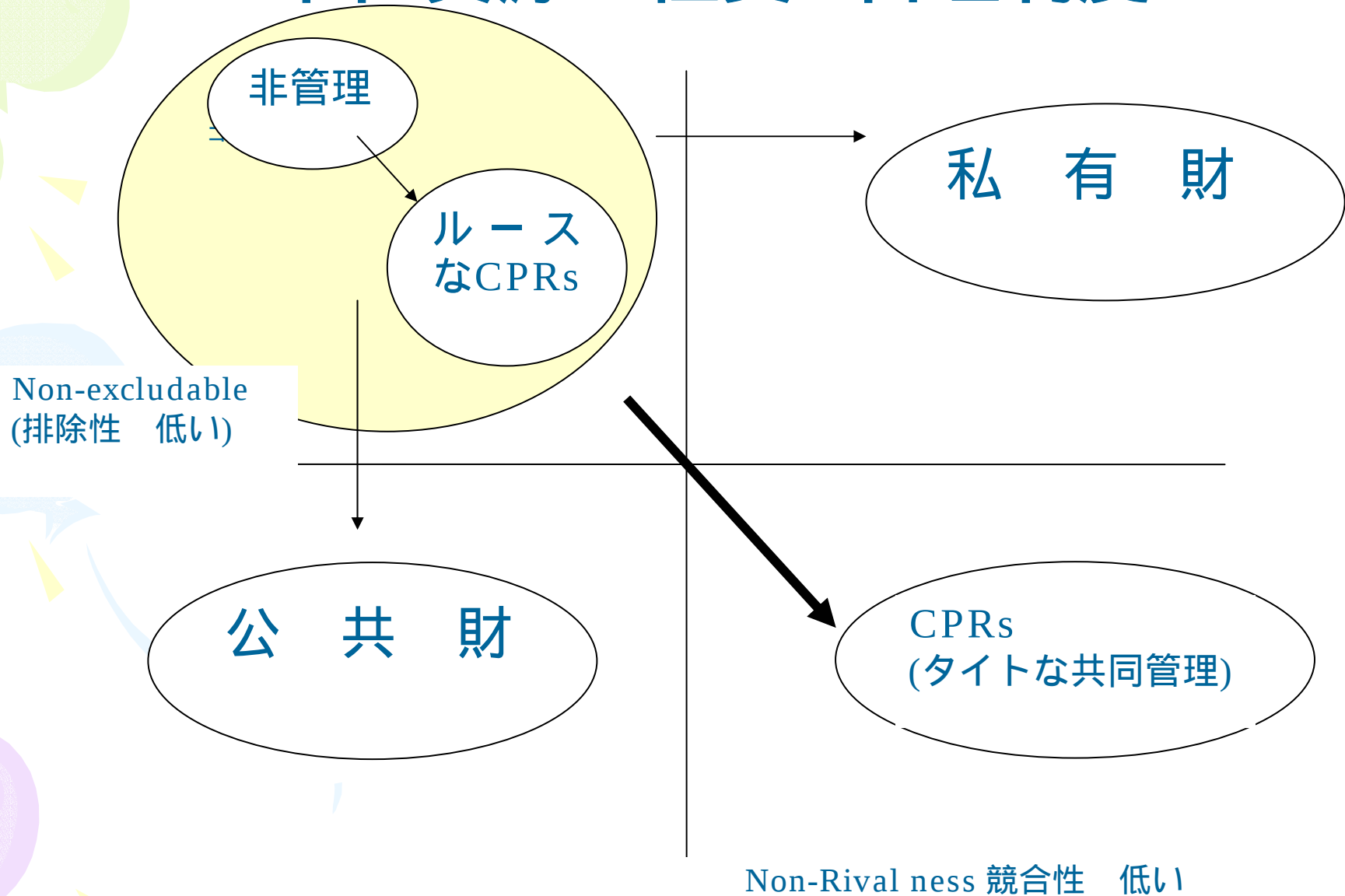
利用規制が存在せず集団のメンバーなら比較的自由に利用できる

利用規制等は慣習法に組み込まれていない
十分な共同管理がなされているとはいえない

「コモنزの悲劇」がおきやすい

P . 13

図 資源の性質と管理制度





コモンズをみる視点

持続と変革と評価

国家と市場

市場

市場である限り、取引への参加は自由意志。
市場への参加は、情報さえ完全ならば、みな得をする

相互依存関係

国家

公に認められた強制力（公権力）を独占する組織。一定のルールを設定し、それによって人々の行動を規制し、違反するものを処罰する。公共財の供給を担う

市場の失敗

市場機構が社会的に最適な資源配分を実現できず、マースシャル的な社会の純効用の最大化、パレート最適から大きく乖離する現象を指す

* 社会の純効用

市場の均衡点では、限界効用と限界費用が価格と一致し、そこでの需給量は、社会の純効用を最大化させる水準

* パレート最適性

市場参加者の誰もが他の効用を低下させることなしに、自己の効用を高めることができない。最も高い資源分配の効率。

政府の失敗

政府による資源の非効率な使用がもたらす社会の
純効用の低下

- * 公共財の供給過剰(経済発展に不可欠な公共財を供給する財政余力を失わせてしまう)
- * 公権力の独占体であるため、労働効率は低くなりがち

環境問題における政府の失敗

公共的介入の失敗の歴史

(テ) コモンズへの期待と留意

コモンズに過剰な期待をすべきでない。

自然資源は地域住民だけのモノでなく、国民みんなのモノ。
地域住民の意向が無視されて市民参加で多数決による
「民主的」な資源管理へと展開してしまうかもしれない。

普遍的な価値に接合

地域住民による資源の利用管理を、持続的な資源利用とか民主的決定という、外部者にも受け入れられやすいものに。

よそ者との関係。

(テ) 持続的利用の三類型

暗黙知に支えられている。偶発的な利用方法。

1) 偶発的な持続的な利用

2) 副産物としての持続的利用

3) 意識的な利用

P . 1 7

(テ) 機能の評価基準

第1の基準

共同管理資源の持続的利用の達成
生態学的機能の評価

持続的利用の三類型

意識的な持続的利用がみられるもの。

(テ)機能の評価基準

第2の基準

民主的社会秩序の維持

社会文化的機能の評価基準

長期持続型コモンズの条件

6条件の提示 オストロム

P.18

演習問題 3

- 1 「よそもの」の視点はなぜ必要なのだろうか。
- 2 水産資源を対象に、持続的な資源利用とはどのようなものと考えられているか、述べなさい。
- 3 「コモンズの悲劇」が発生している「グローバル・コモンズ」の例をあげなさい。それに対して、世界はどのような方策を講じているか